

ルワンダ月報（２０２５年８月）

※以下は、ルワンダに関する主要報道の取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のカガメ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 1日、タ（Sidi Ould THA）アフ開銀次期総裁と会談（同氏は、9月1日に総裁就任）し、ルワンダと同銀行との協力関係強化について議論。
- 13日、EACとSADCが議長を務めるコンゴ（民）東部問題を巡るオンライン首脳会議に参加。
- 26日、米国議員団による表敬を受け、地域情勢、教育、保健といった分野での米・ルワンダ関係強化を議論。
- 27日、ルワンダ訪問中のモザンビークのチャポ大統領と首脳会談。モザンビーク北部派兵のルワンダ軍に関する地位協定に署名。
- 28日、グランディ（Filippo Grandi）UNHCR 高等弁務官による表敬。ルワンダによる難民保護や地域統合について議論。
- 31日、「Africa Food System Forum」出席のため、セネガル訪問。

外交及び内政に関し、

- 5日、マコロ政府報道官は、米国から追放される最大250人の移民をキガリで受け入れることを合意したと発表。
- 6日、第3回協力に関する合同常設委員会（キガリにて開催）において、ジンバブエと保健、警察協力、エネルギー、税関などに関する5つの協定を締結。
- 8日、水道公社（WASAC）のオマール元CEO及び幹部2名が、汚職などを理由にルワンダ捜査局（RIB）に逮捕された。
- 20～22日、ンドゥフンギレ外務大臣はTICAD9に参加。岩屋外務大臣とバイ会談を行い、地域情勢等について議論したほか、23日には大阪で開催された「関西アフリカビジネスフォーラム」に出席した。
- 26～28日、ンドゥフンギレ外務大臣は「第5回シンガポール・アフリカ閣僚級会合」出席のため、シンガポールを訪問。同会合のマージンで開催された「アフリカ・シンガポール・ビジネスフォーラム」に出席し、ルワンダへの投資をアピールしたほか、ウォン（Lawrence Wong）シンガポール首相と会談を行った。

コンゴ（民）東部問題に関し、

- 5日、6月27日のワシントンでの和平合意を上院が承認。
- 7日、コンゴ（民）東部問題を巡り、ルワンダとコンゴ（民）の代表団が、エチオ

ピアで安全保障調整グループの初会合を実施。本会合は6月の和平合意に基づいて設置され、大湖地域における平和と安定の実現を目指す。

●8日、ドイツサッカークラブのFCバイエルンは、ルワンダ観光促進キャンペーン「Visit Rwanda」とのスポンサー契約を終了し、今後はルワンダにおけるユースアカデミーへの支援に注力する旨発表。なお、独メディア等では、コンゴ（民）東部情勢におけるルワンダの役割に関する批判がスポンサー契約終了の背景にあったと報道された。（一方、ルワンダ国内ではスポンサー契約終了に関する報道はなく、ユースアカデミーの支援が2028年まで継続することのみが報道された。）

●11日、6日に国連人権高等弁務官事務所が、北キブ州での市民虐殺について、ルワンダ国防軍の支援を受けるM23が関与したとの報告に対し、ルワンダ外務省が声明にて反論。

開発協力に関し、

●14日、JICAのコーヒープロジェクト（CUP2）の支援を受け、農業輸出開発局（NAEB）が第2回ベスト・オブ・ルワンダ（ルワンダコーヒーの国際品評会）の表彰式開催。

●14日、アフ開銀は、作物保存に関する2つの農業プロジェクトに対する995,000米ドルの支援を承認。

2. 経済

●28日、ルワンダの鉱山企業「TRINITY Metals」社が同国のタングステンを米国に直接供給するための合意を米企業等と締結。

●7月の消費者物価指数は、前年同月比7.3%上昇。特に、食品及び非アルコール飲料が6.4%、アルコール、たばこ類が12.2%上昇。

●ルワンダ中央銀行は、金利を6.75%に引き上げた。